

# 就活、卒業生に聞いてみた

## 首都圏学生寮 松濤学舎で勉強会

東京  
県内

首都圏で学ぶ佐賀県出身者らの学生寮「松濤学舎」(東京都小金井市)で18日、卒業生が講師となつて寮生約20人に就職活動をアドバイスする勉強会が開かれた。商社、物流、証券、官公庁などさまざまな業界で活躍する卒業生ら約30人が、業界や企業の現状と展望を伝えた。



物流会社勤務の江口さん(手前左)の説明を聞く学生たち  
＝東京都小金井市の松濤学舎

国内大手の物流会社にルートをデザインでき勤める江口史紘さん(29)は、「醍醐味を語った。小城市出身」は、物流「いろんな人がいてこそを「世界経済を支える会社は成り立つ」と多様な人材を求めていることを紹介した。日本からベルギーに荷物を運んだ際、官公庁は佐賀県庁や国船船やシベリア鉄道など土交通省、国税庁の職員を利用した経験を伝え、も参加した。県職員は、「世界地図の上で、自由民満足度の向上が大切

## 企業、官公庁… 多様な働き方学ぶ

で、利益至上主義ではない」と民間企業との違いを説明した。「行政として多様性を大切にしている。さまざまな人を幸せにするには、政策を打つ側にも多様性が求められる」と述べ、研修制度やリモートワークの充実を強調しながら、職員や働き方の多様化を進めていることを紹介した。

東海大学2年の原松太朗さん(19)は「公務員の堅いイメージがいい意味で変わった。多様性の話が印象的だった」と話した。物流企業の説明を聞いた日本社会事業大の小鍋涼也さん(21)は鳥栖市出身は「世界経済を支える仕事のイメージが湧いた。想像以上に規模の大きな仕事と分かり、話を聞いて良かった」と満足していた。(山口貴由)

